

## VLBI 懇談会 2022 年度 総会 議事資料

### 議題

#### 1. 2022 年度会計報告及び会計監査報告（資料 1）

2022 年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、2021 年度 VLBI 懇談会シンポジウムはハイブリッド形式となった。シンポジウム開催費は副賞の費用。役員会は全てリモート開催となったために役員の旅費は発生せずゼロとなった。また 2022 年度支出実績の本年度シンポジウム開催費は、シンポ日程が会計処理期間の後にたったためゼロとなっている。

#### 2. 2023 年度の活動方針及び予算案

##### (1)2022-2023VLBI 懇談会 役員構成

・会長 小林秀行

・事務局長 中川亜紀治

・機関幹事 12 名

関戸衛（情報通信研究機構）、青山雄一（国立極地研究所）、米倉覚則（茨城大学）、中川亜紀治（鹿児島大学、事務局長兼務）、高羽浩（岐阜大学）、三澤浩昭（東北大学）、新沼浩太郎（山口大学）、寺家孝明（国立天文台）、湯通堂亨->本田昌樹（国土地理院）、土居明広（JAXA/宇宙科学研究本部）、小川英夫（大阪公立大学）、高村美恵子（学生幹事）

・全国幹事 5 名

今井裕、藤沢健太、岳藤一宏、秦和弘、赤堀卓也

・事務局

武士俣健、小森明代

・会計監査委員

小川英夫

##### (2)2023 年度活動予定

・ VLBI 懇談会役員の改選

2023 年の V 懇シンポの前までに役員改選を実施予定。前回と同じウェブ投票を予定。

・ VLBI 懇談会シンポジウムの開催

役員会にて SOC チェアを調整後、SOC,LOC 中心に進める。天文台研究集会助成の申請。

・ 役員会、総会の開催

・ WG の活動（教科書 WG、VLBI 歴史 WG）

・ 通常業務（会費徴収、名簿管理、会計管理）

・ メーリングリスト及び V 懇ホームページ(<https://www2.nict.go.jp/sts/stmg/vcon/>) の管理については引き続き NICT で運用する。

・ 入退会時の連絡先は事務局長とする。

### (3)2023 年度の予算案

会計期間：2022 年 12 月 7 日～2023 年 12 月 31 日

収入の部

収入合計	¥802,552	備考
前年度繰り越し	¥593,552	
会費収入	¥209,000	正 104人x 2,000円 (在外15人除く) 学 1人x 1,000円

支出の部

支出合計	¥802,552	備考 (実績)
2022年度V懇シンポ集録作成・発送費	¥100,000	5.9万円 (2021) 9.1万円 (2020)
2022年度V懇シンポ経費	¥20,000	口頭・ポスター賞副賞代 アルバイト謝金、賞状代など
2023年度V懇シンポ経費	¥20,000	同上
役員旅費等	¥100,000	0円 (2021-2022年度)
繰り越し予定	¥562,552	

### 3. WG の報告 (資料 2, 資料 3)

VLBI 懇談会内の 2 つの WG (歴史 WG、VLBI 教科書 WG) の活動状況

#### 4. 2022 年度の活動報告

##### ●2022 年度 第 1 回役員会

・実施日：2022 年 1 月 13 日 (木) 9:00-10:10

・議事内容：

(1)審議：国立天文台運営会議の委員推薦

委員候補として高橋慶太郎さん(熊本大学)、米倉覚則さん(茨城大学)、久野成夫さん(筑波大学)を推薦した。

(2)審議：2022 年 VLBI 懇談会シンポジウム開催について議論

・開催場所の決定(東北大学)、SOC チェアと LOC チェアの決定

・天文台研究集会助成への申請について

2021 年度から「分野を代表する団体」等カテゴリ分け廃止。一本化された。

(3)2021 年度 V 懇シンポ、学生 V 懇について中川と高村より報告

(4)会計監査委員の決定、2022 年度も小川英夫先生に依頼することとなった

##### ●2022 年度 第 2 回役員会

・実施日：2022 年 4 月 22 日 (金) 9:00-10:15

・議事内容：

(1)2022 年 VLBI 懇談会シンポジウム、SOC、LOC 構成員の決定と報告

(2)報告：国立天文台運営会議メンバーとして米倉さんが選定された。

(3)審議：国土地理院機関幹事：湯通堂さんにかわり本田昌樹さんになることを承認。

(4)報告：教科書 WG 関連(藤沢さん)、SKA の現状(小林さん)

(5)報告：JVN 外部レビュー（藤沢さん）国内 5 大学+国立天文台の活動レビュー

(6)意見交換：宇電懇と V 懇のあり方について役員会で意見交換（藤沢さん）

宇電懇において V 懇の位置づけが話題に挙がった。V 懇の位置づけや性質（天文測地との情報交換、国内アンテナ群の運用や次期計画の議論）を認識し V 懇として何のため集まるのかを考えることの重要性

(7)機関報告、岐阜大学佐野栄俊さん着任、山口大学、NICT、国土地理院

#### ●2022 年度 第 3 回役員会

・実施日：2022 年 5 月 25 日（水）09：00－09：50

・議事内容：

(1)審議：国立天文台内委員会の外部委員推薦について

下記の A,B,C の 3 つの委員の外部委員について V 懇からの推薦者を決定した。

(A)研究交流委員会（任期：22.7.1 - 24.9.30）

下井倉ともみ（大妻女子大学）、中川亜紀治（鹿児島大学、現在 1 期目）

(B)プロジェクト評価委員会（任期：22.7.1 - 24.9.30）

徂徠和夫（北海道大学）、新沼浩太郎（山口大学）、萩原善昭（東洋大学,JIVE）

(C)科学戦略委員会（任期：22.11.1 - 24.9.30）

高橋慶太郎（熊本大学、現在 1 期目）（2 期目推薦）、元木業人（山口大学）

(2)審議：2022 年度 V 懇シンポ日程の決定、しかし後に変更された。

(3)報告：Gmail に関連した ML で起こる問題について。今のところは転送先の変更や転送停止などの個別対応で解消。しばらくは現状のまま運用する。

(4)報告：IAU シンポメーザー研究会に対する VLBI 懇談会との共催や後援

SOC チェア廣田さん、LOC チェア今井さんと確認。何も対応をとらないことに決定。

#### 5. 通常業務

・メーリングリスト管理・ウェブサイト管理(NICT に委託)

・2022 年度 VLBI 懇談会シンポジウムの集録印刷・配布

・会員名簿管理、会費徴収

・2022 年度の入退会（2021 年 12 月 2 日～2022 年 12 月 8 日の期間）

入会： 5 名（うち会費無し学生：1 名）

退会： 11 名（うち会費無し学生：7 名）

現在の会員：135 名（正会員 119 名（うち在外 15 名）、学生会員 16 名）

以降、添付資料

# 資料1

## 2022 年度会計報告

会計期間 2021 年 11 月 26 日～2022 年 12 月 6 日

### 収入の部

	2022 年度予算	2022 年度実績	2021 年度実績	備考
収入合計	736,036	668,040	634,570	
前年度繰越金	533,036	533,036	351,568	
会費収入	203,000	135,000	283,000	
利息	0	4	2	
その他	0	0	0	

### 支出の部

	2022 年度予算	2022 年度実績	2021 年度実績	備考
支出合計	736,036	668,040	634,570	
前年度シンポジウム集録発行・発送	200,000	59,048	90,860	*1
シンポジウム開催費(前年度)	15,000	15,000	10,000	
シンポジウム開催費(本年度)	20,000	0	0	
役員会旅費補助	100,000	0	0	
雑費	10,000	440	674	*2
次年度繰越金	391,036	593,552	533,036	

\*1：2021 年度 V 懇シンポ集録代金

\*2：2021 年度 V 懇シンポ集録代金振込手数料

### 会計監査報告

VLBI 懇談会会計簿および支出に伴う領収書、帳簿、現金等の資産を監査した結果、問題のないことを認めます。

2022 年 12 月 12 日

VLBI 懇談会 会計監査委員

小川 英夫

# 資料2

## VLBI懇談会歴史WG 進捗報告

2022/12/23 VLBI懇談会総会資料

メンバ: 川口・藤沢・関戸・本田・土井・面高・小山・小林(順不同・敬称略、以下おなじ)

### 進捗

WG主査を健康上の理由から川口から小林に変更した。WGメンバについては、川口則幸・小林秀行(国立天文台)、関戸衛・小山泰弘(NICT)、面高俊宏(鹿児島大)、土井浩一郎(極地研)、藤沢健太(山口大)、本田昌樹(国土地理院)で活動を行っている。内容について下記の通りで、2023年3月末締め切りで原稿の依頼をしている。

VLBI 懇談会歴史コンテンツ案

2022/11/30

#### ①歴史と活動

	WG 担当者	項目	執筆者
VLBI 懇談会の歴史と活動			
VLBI 懇談会の歴史	川口	設立の経緯	川口
		活動の歴史	小林・藤沢
VLBI 懇談会設立前のプロジェクト			
国際測地 VLBI プロジェクトから IVS	関戸	日米プロジェクトの概要と成果	小山
KNIFE	面高	KNIFE の概要と成果	三好
Jnet	面高	Jnet の概要と成果	面高
TDRSS 実験	小林	TDRSS 実験の概要と成果	平林
野辺山 7 mm (3 mm) 実験	小林	野辺山 45mVLBI の概要と成果	井上
VLBI 懇談会設立後のプロジェクト			
VSOP	小林	VSOP の概要	平林
		VSOP のシステム	小林
		VSOP の地上システム	川口・藤沢
		VSOP の運用と成果	村田
VSOP2	小林	VSOP2 計画の概要と経緯	村田

KSP など	関戸	KSP 計画の概要とシステム	関戸
IVS (技術開発センターなど)	関戸		関戸
西太平洋干渉計 (マークスプロジェクト)	関戸	プロジェクトの概要と成果	
VERA	川口	VERA 建設の経緯	笹尾・面高
		VERA システム	川口・小林
		VERA の成果	廣田・本間
KaVA/EAVN	小林	KaVA/EAVN の経緯	小林
		KaVA/EAVN のシステム	秦・小山
		KaVA/EAVN の成果	秦・廣田
JVN	藤澤	JVN の経緯	藤澤、小林、 面高、中井、 徂徠、高羽、 米倉、小川
		JVN のシステム	藤澤、新沼、 米倉、中川、 (水沢)
		JVN の成果	藤澤、土居、 杉山、面高、 米倉、新沼、 小川、徂徠、 元木、須藤、 中川
南極 VLBI	土井	南極 VLBI の経緯とシステム	土井
		南極 VLBI の成果	土井
気球 VLBI	小林	気球 VLBI の経緯と概要	土居
国土地理院移動局実験 (VEGA)	本田	移動局実験の概要	本田
		移動局実験の成果	本田
国土地理院地方局実験 (J A D E)	本田	JADE 実験の概要	本田
		JADE 実験の成果	本田
IERS/石岡 VGOS	本田	筑波 IERS 参加のシステムと成果	本田
		石岡 VGOS システムと成果	本田
OLIVE	川口	OLIVE システム	川口
		OLIVE の成果	川口・藤沢
EHT	小林	EHT の概要と日本の参加	本間
		EHT の成果	秦
飛翔体軌道決定	関戸	のぞみ・はやぶさ VLBI 概要と成果	関戸

		はやぶさ 2VLBI 実験の概要と成果	竹内
SELENE	小林	SELENE の概要とシステム	松本
		SELENE の成果	松本
開発プロジェクト			
NICT における VLBI 開発	関戸	K1・K2	関戸
		K3	関戸
		K4	関戸
		GICO	関戸
国立天文台における VLBI 開発	川口	簡易型相関器 (NAOCO)	川口
		三鷹 FX 相関器	小林
		VSOP ターミナル	川口
		VERA ターミナル	川口

②資料

VLBI 懇談会シンポジウム

学生セッション・学生幹事

③寄稿

鹿島 VLBI の黎明期	関戸		河野
VLBI と森本さん	小林		井上
VSOP と国際協力	小林		平林
鹿島 34m の建設と終了	関戸		川口・関戸
会長の思い出 1	小林		井上
会長の思い出 2	面高		面高
会長の思い出 3	川口		川口
VERA と鹿児島大学	面高		面高
VLBI とのかかわり	川口	エレックス	
VLBI とのかかわり	川口	SONY	
VLBI とのかかわり	川口	日本通信機	
VLBI とのかかわり	川口	アンリツ	

# 資料3

## VLBI 懇談会 「教科書 WG」の活動について

藤沢健太（山口大学）

### （1）はじめに

2021年に設置された「教科書WG」は、VLBIを志す学生や他分野の研究者を対象としたVLBIの入門書を制作することを目的としている。本の仮称は『VLBI入門』である。

### （2）活動と成果

2021年5月から10月まで5回の打ち合わせを行い、内容案と執筆者案を議論した。現在の構成案を以下に示す。構成案はほぼ完成しているが、詳細な内容の決定および執筆者の決定の段階でWGの活動が停止している。これはWGの責任者を務めている藤沢の業務時間配分が理由であり、2023年には再開する予定である。1年間活動が停止して、結果的に出版が遅れることについて、WGのメンバーおよびVLBI懇談会関係者に深くお詫びします。2023年にWG活動を再開し、以下の予定で出版に向けた活動を行う予定である。

執筆 2023年末まで

編集 2024年前半

出版 2024年夏

### 『VLBI入門』構成案（2021/10/07版）

第1章 はじめに

第2章 天文学におけるVLBI

第3章 測地学・地球科学におけるVLBI

第4章 VLBIの新しい応用

第5章 電波と電波望遠鏡

第6章 電波干渉計

第7章 VLBI観測と相関処理

第8章 VLBIデータ解析

第9章 VLBI技術・科学の発展を目指して